

令和7年度 第1回 茨木市総合保健福祉審議会

- ◇ 日 時 令和8年3月23日(月曜日)
午後2時から
- ◇ 場 所 茨木市役所南館10階 大会議室

《次 第》

- 1 開 会
- 2 議 題

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1 各分科会における審議内容の報告について | 資料1 |
| 2 総合保健福祉審議会の答申(案)について | |
| 3 その他 | 資料2 |

- 3 閉 会
-

茨 木 市

令和 7 年度 各分科会の審議内容について

(1) 地域福祉推進分科会

回	日 程	主な議題
第 1 回	令和 7 年 7 月 30 日	○会長職務代理者の選出について ○地域福祉計画（第 4 次）・社会福祉協議会地域福祉活動計画（第 3 次）の取組み状況等について

【事務局からの報告内容】

(市の取組について)

- ・令和 7 年 4 月に北保健福祉センターがオープン
→市内 5 圏域すべてに地区保健福祉センターが設置された。
- ・個別避難計画については、279 件の作成が完了（対前年度増加率は、北摂 7 市では 1 位）

個別避難計画とは、災害発生時にどのような避難行動をとればよいのか、避難先や避難経路、避難時に持っていく物などをあらかじめ決めておくこと等を目的とする。

(対象者)要介護 3～5 の方、身体障害者手帳 1 級・2 級をお持ちの方、
精神障害者保健福祉手帳 1 級をお持ちの方、療育手帳 A をお持ちの方など

- ・民生委員児童委員の充足率が減少傾向にある。
→要因としては、人口減少による労働力不足等により、定年延長や、定年を過ぎても働き続けることが一般的になったことなどが考えられる。

(社会福祉協議会の取組について)

- ・「ぷらっとホーム事業の推進」において、延べ参加者数が増加。
→担い手、場所、財源の確保など課題はあるものの、創意工夫することで増加に繋がっている。
- ・「地区福祉委員会活動の推進」において、福祉委員数が減少。
→自治会の減少や自治会への加入率の減少が福祉委員数減少の一因と考えられる。
- ・地域で活躍できる人材の育成として、ボランティア体験プログラムや養成講座を実施

【委員からの意見等】

- ・民生委員児童委員の充足率向上に向けた取組について
- ・自治会の現状や加入率向上に向けた取組について
- ・地域の実情について

(2) 高齢者施策推進分科会

回	日程	主な議題
第1回	令和7年8月4日	○令和6年度の事業実績について ○令和7年度に実施する市民向けアンケート調査について

【事務局からの報告内容】

(令和6年度の事業実績)

- ・高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画について、令和6年度の進捗状況の報告を行った。
- ・事務局からは、計画全体の評価として、3年計画の1年目であり数値目標を達成できていない項目もあるが、令和7年度以降で後れを挽回するよう努めることを報告。

(令和7年度に実施する市民向けアンケート調査について)

- ・次年度の計画策定に向けた基礎資料とすべく、令和7年11月から「介護予防・日常圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「介護保険事業者調査」の3種類を実施する予定である。
- ・市で作成中の調査票案を報告。
→前回の調査項目に加え、スマートフォンの利用、在宅医療、終活などに関する設問を追加する方針。

【委員からの意見等】

- ・専門用語については注釈を追加しわかりやすくしてはどうか。
- ・問題数の多さに関する懸念。
→特に介護予防・日常圏域ニーズ調査については設問数が多いため、回答者の負担とならないよう設問の精査を行う。
- ・回答率を高めるための市の対応について。
→茨木市民生委員児童委員協議会や茨木市高齢者サービス事業所連絡会へ出席し、アンケートの趣旨及び内容について説明を行い、協力を依頼することとした。
- ・そのほか、文字の大きさなど、回答者への配慮に関する意見があった。

回	日程	主な議題
第2回	令和7年10月23日	○茨木市介護保険事業の運営状況について ○茨木市の保健福祉に関するアンケート調査（案）について

【事務局からの報告内容】

(茨木市介護保険事業の運営状況について)

- ・令和6年度における、要介護認定率や給付費の推移、各介護サービスの状況について報告。

【委員からの意見等】

- ・要介護認定率の伸びに対して、給付費の伸びが想定を下回っている理由は何であるか。比較的

軽度の要介護認定者が多いということか。

→大阪府の傾向として、いわゆる「お守り申請」として認定申請を行う方が多く、これが認定率を押し上げる要因であると分析している。

(茨木市の保健福祉に関するアンケート調査(案)について)

- ・アンケート調査票について、市での検討を踏まえた設問の追加や、第1回分科会にて議論された意見を反映した最終案を報告した。
- ・歯磨きに関する設問の追加や、選択肢の工夫による設問の統合、難しい用語には注釈を追加するなどの変更点を説明した。

【委員からの意見等】

- ・設問における表現の統一、注釈の記載内容、設問の追加に関する要望といった意見があった。
→事務局からは、アンケート調査票の発送までに可能な限り意見を取り入れると回答。

回	日程	主な議題
第3回	令和8年2月26日	○市民向けアンケート調査の結果(速報値)について ○令和7年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)の評価結果について

【事務局からの報告内容】

(市民向けアンケート調査の結果(速報値)について)

- ・令和7年11月から実施したアンケート調査の結果について、速報値を報告した。
- ・結果の分析を行い、次回の分科会でアンケート調査の最終結果を報告する。

【委員からの意見等】

- ・調査結果に関して、年齢や圏域ごとの詳細な分析を行い、次期計画の策定に活かすべきであるとの意見があった。
→事務局からは、報告書では年齢・圏域ごとの分析についても必要に応じて記載すると回答。

(令和7年度保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金(市町村分)の評価結果について)

- ・国から交付される2種類のインセンティブ交付金に関する報告を行った。
- ・本交付金は、高齢者の自立支援・重度化防止に関する市町村の取組みを推進するため、市町村及び都道府県の様々な取組みに関する評価指標を設定した上で、取組状況に応じて交付金が交付されるものである。
- ・本市の全国順位としては、2種類の評価点合計で384位(1741市町村中)であった。
- ・評価対象である各指標について、配点や全国平均と比較・分析を行い、今後の市の施策へ生かす方針である。

(3) 障害者施策推進分科会

回	日程	主な議題
第1回	令和7年8月27日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度 障害福祉関連事業について ○障害者計画（第5次）の取組状況等について ○障害福祉計画（第7期）・障害児福祉計画（第3期）の取組状況等について ○茨木市立障害福祉センターハートフルの学童保育室の使用について

【事務局からの報告内容】

(福祉関連事業について)

- ・ 4月から休園していた「ともしび園」が、新たな指定管理者のもとで9月から再開。
- ・ 就労選択支援事業の実施に向けかしの木園・支援学校等と調整を進めている。
- ・ 日帰りショートステイの報酬改定を実施。
- ・ 令和7年4月に北保健福祉センターがオープン。
→市内5圏域すべてに地区保健福祉センターが設置された。
- ・ 相談支援事業所開設等補助金事業を本年も実施。
- ・ 国の通知に沿って障害福祉サービス事業所を地域生活支援拠点等に位置付ける体制整備を実施。
- ・ 障害児支援利用計画作成に係る補助金の単価増額等一部変更。
- ・ 茨木小学校の学童保育室が不足しているため、令和7年4月から令和10年3月末まで茨木市立障害福祉センターハートフルの一部の部屋を学童保育室として使用。

【委員からの意見等】

- ・ 地区保健福祉センターと障害福祉サービス事業所との連携について
- ・ 就労選択支援事業開始にともなう就労系のサービス事業所や利用者の反応について
- ・ 民生委員への情報提供について
- ・ 災害時の情報取得や避難訓練等の取り組みについて
- ・ 障害理解の促進について
- ・ 学校現場でのハード面に関する情報共有について
- ・ 計画書に使用される用語について
- ・ 地域移行者の実態把握について
- ・ 事業所（特にB型）の質の確保に関する取り組みについて

回	日 程	主な議題
第2回	令和8年1月29日	○障害福祉計画（第7期）・障害児福祉計画（第3期）の取組状況等について ※前回未報告分 ○次期計画策定に向けた方向性について ①概要について ②見直し・改定の方向性について

【事務局からの報告内容】

- ・ 現段階の国における計画改定に向けた基本方針の見直し内容について報告。
- ・ 国審議会における資料「地域差の是正・指定の在り方に係る対応について」の内容について報告。

【委員からの意見等】

- ・ 工賃向上維持に向けた取り組みについて
- ・ 計画の見直し、改定時に向け他法との関わりの整理について
- ・ 精神障害への理解促進の取り込みについて
- ・ 教職員への障害理解の取り組みについて
- ・ のぞまないセルフプランについて
- ・ 障害児の計画相談について
- ・ 災害時の取り組みについて
- ・ 障害理解のばらつき、共通認識をもつことについて

(4) 健康医療推進分科会

回	日 程	主な議題
第1回	令和7年7月24日	○健康いばらき21・食育推進計画（第4次）及びいのち支える自殺対策計画（第2次）の取組状況について ○計画中間見直しに係るアンケート調査の項目案について

【事務局からの報告内容】

(健康いばらき21・食育推進計画の取組について)

- ・ 令和6年度の主要な取組の状況について
→ 地区保健福祉センターにおける活動、各種健（検）診事業の推進状況、健康づくり課公式インスタグラムの運用開始など
- ・ 令和6年度の計画目標達成状況、評価及び課題
→ 概ね順調に推移（7つの施策中、A評価2つ、B評価5つ）

(いのち支える自殺対策計画の取組について)

- ・ 茨木市における自殺者数の推移
→ 自殺者数は前年から横ばい、健康状態を要因とする自殺や有職者の自殺が多い。
- ・ こころの相談事業・自殺対策の普及啓発事業の状況
→ 令和3年度に精神保健福祉士を雇用。令和5年度からは2人体制として取り組んでおり、相談件数や啓発事業等の実施は年々増加傾向。

(アンケート調査項目（案）について)

- ・ 調査の概要及び対象者
→ 推移等を見る目的から前回と同様とすることを基本とする（一般市民、小中学生を対象）。
- ・ 新たな調査項目
→ 令和4年度に市が実施した前回アンケート以後に策定された、国や大阪府の計画等を踏まえ、新たに睡眠関係などの項目を追加。

【委員からの意見等】

- ・ ウェブけんしん予約システムの利用者年齢層について
- ・ 計画の進捗に係る評価について
- ・ アンケート調査における質問項目案について

回	日 程	主な議題
第2回	令和8年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート調査の進捗状況について ○計画中間見直しに向けたスケジュールについて ○令和7年度 健康づくりに係る主な取組について

【事務局からの報告内容】

(アンケート調査の進捗状況について)

- ・ 調査の概要
 - 対象者は、前回調査と同様に18歳以上の一般市民と小中学生。
 - 一般市民のアンケート回収率は約51.8%であった。

- ・ 単純集計結果
 - 主な項目について前回調査との比較を中心に説明。

(計画中間見直しに向けたスケジュールについて)

- ・ 令和8年度は分科会を2～3回程度開催
 - 令和7年度の計画推進状況の報告や、中間見直し案等について審議いただく予定。

(令和7年度 健康づくりに係る主な取組について)

- ・ 各種健診の推進状況
 - オンライン予約、巡回健（検）診、歯科健診、胃内視鏡検診
- ・ 多様な主体と連携した健康づくり・食育推進
 - 茨木市健康フェア、食育推進月間イベントの実施
- ・ 国立循環器病研究センターと連携した取組（STOP-MI（ストップ・エムアイ）キャンペーン）
 - 心筋梗塞の前兆症状を広く知ってもらい、前兆を感じた人がすぐに病院を受診し、心筋梗塞になる人を減らすために広報誌への特集記事の掲載に加え、市と連携したクリエイターに依頼してチラシを作成。
- ・ 血圧測定スポットの設置
 - 身近な場所で気軽に血圧を測定できる機会を増やし、高血圧の早期発見により脳血管疾患等の重症化疾患を予防するための取組として、市内の薬局や公共施設等に「血圧測定スポット」の設置を推進。さらなる周知・啓発のため、ロゴマークを作成。

【委員からの意見等】

- ・ 健康に関心がある層の薬局利活用について
- ・ 市のアンケート実施結果に係る全国等との比較について
- ・ 血圧測定スポットのロゴマークについて

案

茨附総福審第 号
令和8年3月 日

茨木市長 福岡 洋一 様

茨木市総合保健福祉審議会
会長 肥塚 浩

茨木市総合保健福祉審議会の答申について

令和7年7月2日付け茨福第313号で諮問のありました茨木市総合保健福祉審議会の諮問について、下記のとおり答申いたします。

記

当審議会において、諮問の日から年度末までの間に審議会と各分科会で合計9回の会議を開催し、専門的な見地、当事者団体、市民委員の各視点により、茨木市総合保健福祉計画の取組状況等について、活発かつ慎重に審議を行いました。

本計画の理念である「すべての人が健やかに、支え合い暮らせる、みんなが主役の地域共生のまちづくり～包括的な支援体制の実現とともに～」の実現に向け、茨木市の市民や団体、関係機関、市が分野を越えてつながり、それぞれの立場で協力し、地域共生のまちづくりに取り組んでいることを評価します。

令和8年度に行う「茨木市総合保健福祉計画(第3次)」の中間見直しについては、アンケート調査をはじめとした市民の意見を十分に尊重されるとともに、審議会、各分科会で活発かつ慎重に審議を重ね、とりまとめていただくことを望みます。

以 上